

サーモユニット TH576-2型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。
取付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

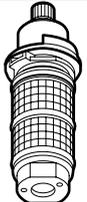
注意

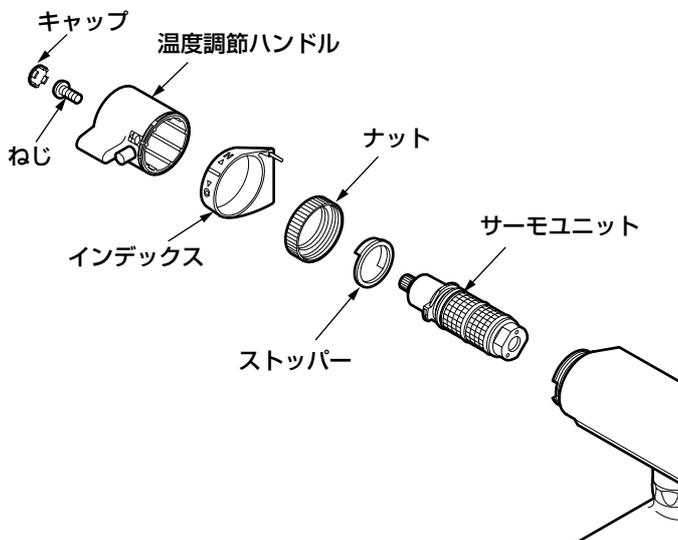
 分解禁止	サーモユニットは絶対に分解しないでください。 特殊組立をしておりますので破損します。	
 必ず実行	サーモユニットを取り外す際は、必ず止水栓又は元栓を閉めてから行ってください。 湯水が噴き出して、やけどや家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	

1 対象商品

このサーモユニットはハンドル付きです。ハンドルの種類により商品番号が違いますので、お取付けの前にもう一度サーモユニット品番と対象商品品番をお確かめください。尚、サーモユニットに合わせて、必ず付属のハンドルに交換してください。

交換前のハンドルは使用しないでください。

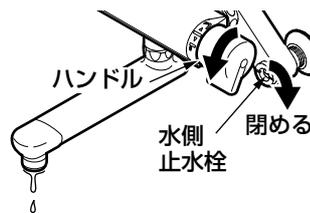
サーモユニット品番	対象商品品番	同梱部品	
		温度調節ハンドル	サーモユニット
TH576-2	TMF40型 TMF47型	 ビス止め式	



2-1 取替方法

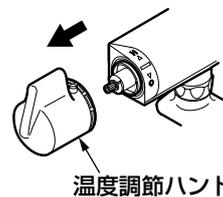
1 旧ユニットの取外し

- ① 止水栓(湯側・水側)又は元栓を閉め、ハンドルを回して水を抜く。
- ② 温度調節ハンドルを取り外す。



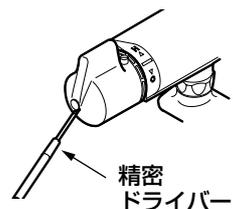
ワンタッチ式

温度調節ハンドルが回らないように注意して抜き取ってください。



ビス止め式

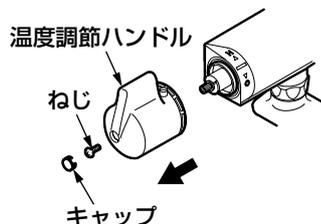
温度調節ハンドルが回らないように注意してキャップ・ねじを外して温度調節ハンドルを抜き取ってください。



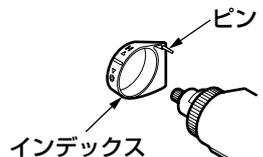
豆知識



キャップは精密ドライバーなどの先の細いものを使用し、めっき表面を傷つけないように注意しながら外してください。



- ③ インデックスを取り外す。
取外しの際はピンを折らないように注意してください。



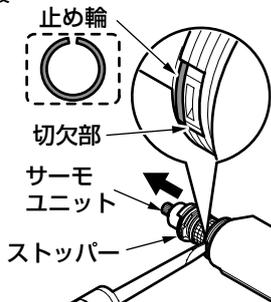
- ④ ナットを取り外す。
ナットは手で緩めて取り外してください。

※手で緩まない場合は、ゴム手袋やプライヤーなどの工具を使って緩めてください。また、工具掛かりのあるナットはスパナなどの工具を使って緩めてください。



- ⑤ 切欠部にマイナスドライバーを差し込み、サーモユニットとストッパーを取り外す。

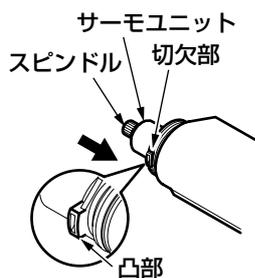
※止め輪が外れた場合、元通りに差し込んでください。



※品番によっては図と現品の形状が一部異なることがあります。

2-1 新ユニットの取付け

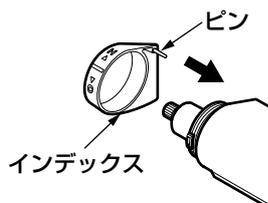
- ①サーモユニットの凸部を本体の切欠部に合わせて組み込む。

**注意**

温度調節をしておりますので、スピンドルは動かさないでください。

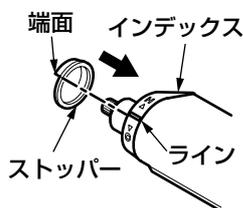
- ②インデックスを仮組みする。

ピンを本体にある穴に合わせて差し込んでください。



- ③ストッパーを取り付ける。

ストッパーの端面とインデックスのラインを合わせてください。



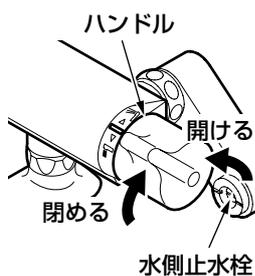
- ④ナットを締め付ける。

インデックスを外し、ナットを手で確実に締め付けてください。
※工具掛かりのあるナットはスパナなどの工具を使って締め付けてください。



- ⑤インデックスを取り付ける。

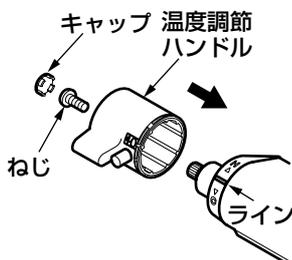
- ⑥ハンドルを閉め、止水栓(湯側・水側)又は元栓を開ける。

**重要****注意**

サーモユニット部から水漏れがないか確認してください。

- ⑦温度調節ハンドルを取り付ける。

温度調節ハンドルの目盛り"40"をインデックスのラインに合わせてはめ込み、ねじで固定してキャップを取り付けてください。

**注意**

ハンドルは必ず同梱のものを使用してください。

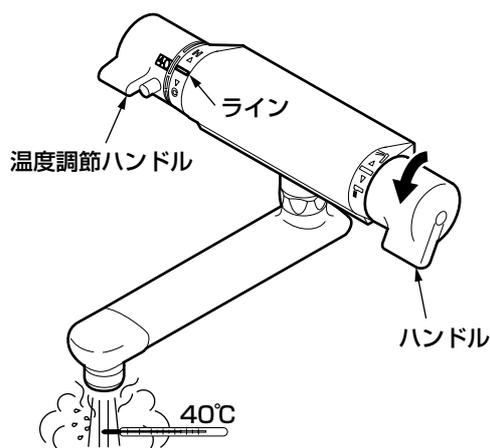
吐水温度の確認

温度調節ハンドルは工場で設定していますが使用条件(給水・給湯圧力、給湯温度)が異なると、表示通りの吐水温度にならないことがあります。吐水温度が表示通りになっているか以下の要領で確かめてください。

1. 給湯機の給湯温度を設定する。
給湯機の給湯温度は吐水温度より10℃以上高く設定してください。
2. 温度調節ハンドルの目盛"40"をラインに合わせる。
3. ハンドル回しスパウトから水を出す。

4. 吐水温度を確認する。

吐水温度が適温(およそ40℃)であればそのままご使用いただけます。吐水温度が適温からずれている場合は、下記を参照の上、温度調節ハンドルを設定し直してください。



※吐水温度が表示通りになっていない時に行ってください。

1. 温度調節ハンドルを目盛りに関係なく40℃の湯が出る位置まで回す。

温度調節ハンドルは目盛"40"付近でロックされますので、これより高温の湯を出したいときは、安全ボタンを押しながら回してください。

2. 温度調節ハンドルを外す。

温度調節ハンドルが回らないように注意してハンドルを外してください。

3. 温度調節ハンドルを取り付ける。

温度調節ハンドルの目盛り"40"をインデックスのラインに合わせて取り付けてください。

4. 固定後に40℃の湯が出ているか確認する。